



合同音楽祭で歌声を響かせました(11/16)



かぶら文化ホールで「第 12 回富岡市小中学校合同音楽祭」が開かれました。丹生小の 4・



5・6 年生は、大河原先生の指揮、加藤さんのピアノ伴奏で『にじいろ』『プレゼント』を二部合唱しました。トップバッターの緊張感も見せず、のびやかで明るい素敵な声で歌う児童から、熱い想いが届きました。お忙しい中、多数の保護者の皆様に会場にお越しいただき、ありがとうございました。

「デフパペットシアターひとみ」文化庁文化芸術公演（11/15）



「文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－」は「我が国の一流の文化芸術団体が小中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を観賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげる」ことを目的としています。「デフパペットシアターひとみ」は耳の聞こえない団員も含め総勢 9 名で、セリフを一切使わずに『はこ-BOXES-じいちゃんのオルゴール』という劇をしてく

だしました。公演前に 4～6 年生が 6 班に分かれ、「はこ」を使った無言の演技をして、1～3 年生に表現したものをあててもらうクイズをしました。演じる児童・答える児童双方の柔軟な発想が輝きました。本番の劇は、セリフがないからこそ見た人それぞれが想像力を大いに働かせ、思いを感じられるものでした。また、箱と人形だけを使ってあれほど自由自在に表現できるということに大変驚きました。お話の内容など詳しいことは、お子さんにぜひ聞いてみてください。



5年生児童の感想より <抜粋>

- ・様々な大きさの箱だけを使って、観客に見えやすいように大きく演技することはたいへんでした。
- ・おもしろさあり悲しさあり、セリフがなくても人の表情だけで伝わるということがわかりました。
- ・(公演では) どんどん時代が変わっていったのがわかったので表現力がすごいなと思いました。箱だけでいろいろなものに見立てて使えるんだなと思いました。楽しかったです。

地域の方を招いて環境朝礼(11/13)

日本光電の佐藤さんがお話をしてくれました。昨年度から「未来にいい環境を残すために、子どもたちと一緒に丹生の自然のことや身近なことを考えよう」とお話をいただいています。「Education for Sustainable Development (ESD)」は、持続可能な社会作りの担い手を育む教育です。流しそうめん

のように、次に食べる(使う・生きる)人のことを考えて、自分が今できることをするのが大切だということをお話いただきました。

先日、校長室から「モズのはやにえ」が撮影



できました。丹生の豊かな自然・文化を、未来に生きる子どもたちに良い形で引き継

ぐために、地域や環境の学習に力を入れたいと思います。

丹生小学校人権旬間が始まっています。(11/27~12/8)

「丹生小学校人権旬間」が始まりました。27日の人権朝礼では全校で「ココロ屋」のDVDを見て、相手も自分も大切にするために「自分の心の好きなところ、きらいなところ、これからどんな心の自分になりたいか」を考えてもらいました。今の自分のよいところを見つけられずにいる児童が高学年に多かった気がします。

心は様々な経験を通して自分で育てていくものです。友達のよさに気付くとともに自分のよさや成長にも気付き、自信をもってほしいと思います。児童の思い(抜粋)を載せます。

- ・「ココロ屋」で、心は育つことを知りました。今より強くなれる、すぐおちこまない心をもちたいです。(2年)
- ・あきらめないで自分からとびこめる心がいいです。どんどん前に向かって夢をおいかけていからです。(3年)
- ・どの心も良いところ、悪いところがあるとわかりました。やっぱり自分の心が一番良いと思いました。(4年)
- ・どんなときも楽しくいられる心でありたい。自分が楽しい心ならきっと周りも楽しくすることができ。(6年)

活動の一環として児童玄関に「ありがとうの木」も貼りました。「友達からしてもらって嬉しかったこと」「自分から友達にして気持ちよかったこと」を「葉のカード」に書いて貼ることで、「感謝の心」や「人のためになろうとする心」を育んでいくねらいがあります。『お手伝いしてくれてありがとう』などと、ご家庭からもお子さんを励ます言葉を「葉のカード」に書いていただいています。



12月9日(土)上毛カルタ

丹生地区大会があります。

前回の丹生小だよりで10日(日)とお知らせしてしまいました。お詫びして訂正いたします。